



ヤマトグループ サステナブル中期計画 2023【環境・社会】を策定

～環境・社会に関するマテリアリティごとの目標を設定～

ヤマトホールディングス株式会社（本社：東京都中央区 代表取締役社長：長尾裕）は、ヤマトグループ中期経営計画「One ヤマト 2023」の9つの重点施策の一つであるサステナブル経営の強化について、サステナブル中期計画 2023【環境・社会】を策定しましたので、お知らせします。

記

1. サステナブル中期計画 2023 策定の背景

気候変動や労働、人権・格差、新型コロナウイルス感染拡大など、社会全体が喫緊の課題に直面している今、私たち企業もこれらの課題にしっかりと向き合い、課題解決に参画する必要性が高まっています。パリ協定や持続可能な開発のための 2030 アジェンダ「持続可能な開発目標：SDGs」は、世界を変革しようと国際社会が採択したものです。

ヤマトグループは 2020 年 1 月 23 日に発表した中長期的な経営のグランドデザイン「YAMATO NEXT 100」において、2050 年の CO₂ 排出実質ゼロ*をはじめ、4 つの目標からなる「つなぐ、未来を届ける、グリーン物流」と、生活の質（QOL）の向上への貢献につながる 6 つの目標からなる「共創による、フェアで、“誰一人取り残さない”社会の実現への貢献」という 2 つのビジョンを掲げました。

サステナブル中期計画 2023【環境・社会】は、このビジョンの達成に向け、各重要課題（マテリアリティ）に対する具体的な行動の内容と、2023 年までの到達目標を定めた包括的なサステナブル中期計画です。









今後、各施策を事業活動の中で遂行することで、社会と事業の持続可能な発展を目指します。

*Scope1&2（自社の排出）

2. マテリアリティごとの注力ポイントと目標

(1) 環境中期計画 2023

事業活動の環境負荷を抜本的に減らすために、総量目標および資材や車など物流業界として革新的な技術の普及に貢献できる分野についても目標を定めました。多様なパートナーと協働した取り組みやビジネス機会も目標対象とし、お客様やパートナー、地域社会のレジリエンスを高め、環境価値を生み出していきます。

動き出す、「つなぐ、未来を届ける、グリーン物流」。一人一人が主役のヤマト環境変革		
エネルギー・気候 気候変動を緩和する 	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス(GHG)排出量2020年度比10%削減*¹ ・GHG排出原単位2020年度比10%削減*² ・再生可能エネルギー由来電力30%使用 	関連するSDGs 
大気 空をきれいにする (大気汚染防止) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車NOx・PM排出量2020年度比25%削減*³ ・大気汚染物質排出が少ない自動車の導入 	関連するSDGs 
資源循環・廃棄物 資源循環を進める、 廃棄物を減らす 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙材における再生可能資源や再生材の利用55%*⁴ ・埋立処分率5%以下*⁵ ・再生材を使用した商品や省資源の資材の提供 	関連するSDGs 
社会と企業のレジリエンス 環境変化に負けない 社会を支える 	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーと協働したグリーン物流 ・社会と連携した環境レジリエンスの向上 (実証や気候変動に適応する情報発信等) ・環境商品/サービスの提供 	関連するSDGs 
環境マネジメントの強化		

*¹:国内連結および(株)スワンの自社排出 (Scope1とScope2)。*²:範囲は*¹と同じ。tCO₂e/営業収益1億円。*³:範囲はヤマト運輸(株)。

*⁴:紙材は、荷造り用ダンボールや集配用資材等。*⁵:従来比半減相当。

(2) 社会中期計画 2023

事業活動を通して豊かな社会を実現するために、国際的な基準やニーズに応える取り組みを計画に組み込みました。労働や人権も目標の対象とし、多様な人材の尊重や社員が活躍できる職場環境の整備に努めます。また、サプライチェーンや地域と共に社会課題の解決に取り組みます。

共創による、フェアで、“誰一人取り残さない”社会の実現への貢献		
労働 社員が生き生きと活躍できる職場環境をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・社員一人当たり営業収益向上(仕事の高付加価値化) ・社員一人当たり残業時間2020年度比20%削減 ・有給休暇取得率90% (ワーク・ライフ・バランスの実現) 	関連するSDGs 
人権・ダイバーシティ 人権尊重の企業風土をつくる、多様性を尊重する 	<ul style="list-style-type: none"> ・全社員(フルタイム)の人権教育受講率100% ・障がい者雇用率2.5% ・女性管理職(役職者)数2020年度比2倍 ／女性管理職比率10% 	関連するSDGs 
安全・安心 安全・安心な事業活動が行える仕組みをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・重大交通事故(有責死亡交通事故)件数0件 ・交通事故(対人事故)件数2019年度比50%削減 ・重大労働災害(死亡労働災害)件数0件 ・休業災害度数率2019年度比20%削減 	関連するSDGs 
データ活用・セキュリティ 情報セキュリティの基盤をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・データを活用した社会課題解決ビジネス創出に向けた基盤の構築完了 ・情報セキュリティ重大事故0件 ・主要組織における情報セキュリティ管理者配置100%および管理者に対する専門教育の実施100% 	関連するSDGs 
サプライチェーンマネジメント ステークホルダーとの共通認識を形成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングの仕組み構築および実証完了 	関連するSDGs 
地域コミュニティ 地域に根差した企業市民活動を行う、ビジネス創出のための仕組みをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業市民活動および社会課題解決ビジネスの効果測定の仕組み構築完了 	関連するSDGs 

現在、そして未来のお客様や地域のニーズを満たし、社会の発展を支えられる企業へと進化するために、ヤマトグループはサステナブル経営の強化に取り組みます。

※詳細の目標は別紙を参照ください。

以上

【お問い合わせ先】

ヤマトホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション戦略担当
 電話番号：03-3541-4141